

《令和六年度 暗唱①》

# 春はるに

谷川たにかわしゆん俊太郎たろう

この気きもちは なんだらう

目めに見みえないエネルギーの流ながれが

大だい地ちから あしのうらを伝つたわって

ぼくの腹はらへ胸むねへそうしてのどへ

声こゑにならない さけびとなって こみあげる

この気きもちはなんだらう

題だい「はるに」と、作さく  
者しや名めい「たにかわしゆ  
んたらう」と、詩しを覚おぼ  
えてください。

